

D104		ロシア語（中級）	
英名科目名	Russian		
大学名	京都大学		
連絡先	文学部教務掛 TEL:075-753-2709 FAX:075-753-2831		
担当教員	文学研究科 教授 中村唯史		
開講期間	2021年04月14日(水)～2021年08月04日(水) 2講時 10時30分～12時00分(毎週水曜日)  定期試験・フィードバック期間 2021/07/28(水)、2021/08/04(水)		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	水曜日 2講時
単位数	2	履修年次	1～4回生
会場	吉田キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	5	京カレッジ生定員	0
試験・評価方法	平常点30%、試験70%で評価します。		
超過時の選考方法			
受講料			
別途負担費用			
その他特記事項	<p>京都大学 吉田キャンパス 総合研究2号館 文学部第9演習室</p> <p>履修要件 ロシア語（初級）を前年度に履修したか、それと同程度のロシア語能力を有していること。</p> <p>授業外学修（予習・復習）等 配付されたプリントを事前に下見して、授業後は単語や構文をしっかり復習してマスターしてください。</p>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>授業の概要・目的 ロシア語の初級を前年度に履修したか、それと同程度の基礎運用能力を習得している学生を対象として、ロシア語の基本文法の完成をめざします。</p> <p>到達目標 1) ロシア語の基礎文法を完成させる。 2) 辞書を引けば、平易なロシア語を読めるようになる。</p>			
講義スケジュール			
<p>授業は、前年度初級に引き続き、配付プリントに沿って進みます。各単元の例文と文法事項はおおむね以下の通りです。（第1回～第6回）</p> <p>第15課「夫にプレゼントを買いたいのです」：与格の表現 第16課「紅茶は普通ミルクを入れて飲みます」：造格の表現 第17課「日本料理店でアントンを見かけました」：活動体名詞の対格・形容詞の格変化 第18課「それがアントンでないはどうして分かるのですか？」：動詞の完了体と不完了体 第19課「捨てるのなら手伝います」：時制のまとめ・助動詞的用法 第20課「もし私が鳥だったら」：仮定法 その後、ロシア語の文章を読むのに必要な文法事項をさらに学びます。（第7回～12回） ・関係詞・副動詞・形動詞・被動相 文法事項の確認を兼ねて、平易なロシア語の文章を読みます。（第13回～第14回） 第15回 まとめ</p> <p>フィードバックについては授業中に指示します。</p>			
教科書	プリントを配付します。		
参考書	開講時および授業中に紹介します。		